



発行 日本共産党 寝屋川市議会議員団 824-1181(内線2399) FAX 824-7760 Email:jcpncc@cc-net.or.jp No.2367

太田 とおる 高柳2-49-2 TEL.826-1664 田中 ひさ子 国松町10-36 TEL.823-1714 中林 かずえ 宝町4-33 TEL.839-2289

中谷 光夫 高宮2-19-5 TEL.823-5947 松尾 信次 下木田町12-6 TEL.821-7427

市制施行60周年記念 文化のにぎわいフェスタ 第61回寝屋川市民文化祭開かれる

自由と平和な社会でこそ

花開く豊かな市民文化

11月3日文化の日、寝屋川市市制施行60周年記念の第61回寝屋川市民文化祭・「文化のにぎわいフェスタ」が、すさみ町との友好都市提携35周年記念の「すさみフェア」との合同開会式を皮切りに3日間、アルカスホール、市民ギャラリー、ギャラリー横の特設会場、市駅前デッキ下特設会場、市民会館などで行われました。

文化の日は、「自由と平和を愛し、文化をすすめる」日として制定されました。11月3日は、日本国憲法が制定された日です。戦争の反省から、憲法の精神をふまえて「民主的で文化的な国家を建設」(教育基本法)しようといまいました。憲法で「文化」の2文字は1カ所にしかありません。「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を定めた25条です。

文化の日は、「自由と平和を愛し、文化をすすめる」日として制定されました。11月3日は、日本国憲法が制定された日です。戦争の反省から、憲法の精神をふまえて「民主的で文化的な国家を建設」(教育基本法)しようといまいました。憲法で「文化」の2文字は1カ所にしかありません。「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を定めた25条です。

6日の青年祭とともに若い力に未来の可能性を感じました。5日の記念式典では、友呂岐中学校2年生の女子が60周年を祝って見事なダンスと歌を披露してくれました。

文化を大切に、市民が願う情報と学習を 期待される寝屋川市駅前図書館の設置と役割

市民ギャラリーがあるアドバンスの3階部分に、来年10月の開館をめざして、新たに市立図書館が設置される計画が進んでいます。

日本共産党議員団は、市民の願いにこたえる事業として賛成するとともに、空き床を購入する計画に対して、市が12億円を超える貸し付けを行っているアドバンス管理株式会社

市民のくらしの豊かさを文化的に考える。社会発展は間違いなくその方向にあります。憲法が保障する基本的人権として、市民が学習する権利、知る権利を保障するためには、行政が直接責務を果たすことが求められます。

市民のくらしの豊かさを文化的に考える。社会発展は間違いなくその方向にあります。憲法が保障する基本的人権として、市民が学習する権利、知る権利を保障するためには、行政が直接責務を果たすことが求められます。



文化フェスタとすさみフェアの合同開会式

この間、議会では各常任委員会が行政視察を行っていますが、類例の都市とくらべても図書館が2カ所というのはあまりにも少ないと言わなければなりません。新設する図書館は、市の直営を基本に検討すべきです。

「民営化」ではなく、専門職としての司書の配置こそ必要です。寝屋川市駅前の図書館設置を機に、長年にわたって行っていない司書の採用こそ、市民の期待にこたえるために求められています。

10月30日、北河内退職教職員会の交流行事がありました。東寝屋川駅前の市立埋蔵文化財資料館をはじめ、第2京阪道路建設に伴って明らかになった遺跡を中心にめぐり、充実した歴史散歩の一日となりました。心配した雨も最後の太秦高塚古墳あたりまでなく、天候にも恵まれました。何より良かったのは、考古学に精通した講師の案内と説明でした。日頃何気なく通る道の傍に建つ説明板や遺跡を示した盛土などの意味を初めて理解することができました。

中間報告以後、中学校給食検討委員会の議論進まず 教育としての中学校給食のあり方こそ検討の柱に

寝屋川・子どもたちの給食をよくする会がアピール

寝屋川のすべての中学生に、温かくておいしい学校給食を！

— 自校直営方式でこそ、その保障が —

6回開催予定の寝屋川市中学校給食検討委員会は、第4回の検討委員会で「デリバリー方式（お弁当方式）の導入が望ましい」とする提言が「中間報告」としてまとめられて以降、委員会がかなり早く終わる状況が続いています。

11月2日に開かれた第5回検討委員会で、デリバリー給食の保温性をみました。業者からご飯と汁の容器を借用し、職員が作った3時間前の料理を試食しました。どちらも10度以内の冷め具合で、50度をかき混ぜる温かさでした。食器容器よりも発泡スチロールの断熱・保温性が効果的だったと感じました。

委員会は、最終報告

書に向けて、①小学校給食からの継続、②中学校における食育、③業者・民間調理場とのかわり、などを議題としましたが、あまり意見が出ず、今回も30分早く終わりました。今回で気になったのは、委員の「デリバリー方式では、献立はどこが誰がつくるのか」の質問に、事務局から「デリバリー方式とまだ決めていません。献立についても今後の課題」であるかのように答えた点です。

前回の委員会で、「どの方式で給食を導入するとしても、市の栄養士が献立を作成することに変わりはない。すべての生徒に栄養バランスの取れた給食を提供したい、...デリバリー方式においても、

食材や献立は自校方式やセンター方式と同じものを提供」との説明から後退の印象を受けました。

10月15日、寝屋川・子どもたちの給食をよくする会が「アピール」を発表しました。大阪府の「中学校給食導入促進事業」と寝屋川市の実施表明を紹介し、この間の中学校給食検討委員会の経過内容を明らかにしています。

「アピール」は、寝屋川の学校給食が、市教委・調理員・栄養職員・教職員の協働で府下でも誇れる取り組みを行ってきたことを述べ、「寝屋川のすべて

文教常任委員会が久留米市の学校給食共同調理場を視察

11月1日～2日、文教常任委員会の行政視察が行われ、中谷光夫議員が参加しました。久留米市中央学校給食共同調理場の視察で

は、昨年度9月から全中学校で完全給食が実施されている経過と現状を聞きました。土地は、国の食糧倉庫跡地約6,545㎡、



久留米市中央学校給食共同調理場の内部

建物は鉄骨2階建3,570㎡、14中学校1日8,000食の供給能力となっています。事業費は1,595,818千円。2献立、アレルギー対応は除去食、米飯は委託炊飯で週3回です。保温性・保冷性に優れた角形二重保温食缶を採用しています。調理後2時間以内の配送、食べ残しは飼料化（養豚）、調理くずは生ゴミ処理で堆肥化されています。課題は残量の多さです。教育・食育の点からの困難があります。

議員誌



中谷光夫

寒暖差が大きい日が続きます。どうぞ健康にくれぐれもご留意下さい。知事選挙が行われる関係で、行政視察、市制施行60周年行事、地域の行事などが集中するこの時期、多忙な日々が続いています。文字通り「心を亡くす」忙しさに、悩んでいます。能力を超える

あわただしさに、知事を出すこと、多くの人に協力を求めること、頼み下手な私の課題です。本来なら、実りの秋、文化の秋、スポーツの秋、晩秋には紅葉も見頃です。そうした余暇を奪う悪政のひどさを恨みながら、変革者の精神でがんばっています。

法律相談のご案内
11月17日 (木) 午後6時から受付
市民会館第3・4会議室
お問い合わせは党市会議員団まで